

## 北陸新幹線敦賀以西の整備に関する決議

北陸新幹線は、多極分散型国土の形成を推進し、国土の均衡ある発展に欠かせない極めて重要な国家プロジェクトである。

また、大規模災害時においては、東海道新幹線の補完代替機能を果たすなど、多重化による輸送体系の確立とともに日本海国土軸の形成を通じて、災害に強い強靱な国土づくりに大きく貢献することが期待されている。

さらに、フル規格により大阪までが整備されれば、北陸新幹線の沿線各地域が直接関西圏と結ばれることとなり、経済波及効果とともに顕著な時間短縮効果が見込まれている。

現在、敦賀以西ルートについては、3月10日の与党敦賀・大阪間整備検討委員会において、小浜・京都ルート（JR西日本提案）、舞鶴を經由するルート、米原ルートの3案にほぼ絞り込まれた。

今後は国が5月までに調査を開始し、その結果をもとに与党検討委員会がルートを決定的にすることとなっている。小浜・京都ルートは、本市がこれまで主張してきた若狭（小浜）ルートのひとつであり、京都駅を經由することに伴い、旅客流動性が高まることから、利便性の確保につながるなどの利点があるルートである。

については、年内に小浜・京都ルートを決定的にしたいと、下記事項の実現を強く要望する。

### 記

- 1 敦賀以西については、小浜・京都ルートとし、開業年度を明らかにすること
- 2 大阪までのフル規格による早期全線整備を実現すること

以上、決議する。

平成28年3月23日

福井県小浜市議会